

「日本の大学生等との交流 2011」

－「笹川杯全国大学日本知識大会・作文コンクール」優勝者訪日団と日本の大学生等との交流－

目的

日中を中心とした多国籍の大学生や一般市民が、同じ目的のもとに行動を共にし、本音で意見交換することにより、それぞれの文化や価値観の違いを認識のうえ相手や相手の国に対する理解を深めるとともに、友情を育む機会を提供するというものです。

ねらい

- ・文化や価値観の違いを認識のうえ、相手や相手の国を尊重して相手や相手の国を真に理解すること
- ・自分の国に対する認識を深めること
- ・友だちという心のつながりを築くこと
- ・行動の中で自分の日本語力や中国語力を実践すること

概要

東京、沖縄、京都で、それぞれの地域の大学生等との自由交流、実地体験、訪問見学を行いました。

* 東京

Q I A O（ハンセン病問題支援学生NGO）のメンバーを中心に日本の有志大学生と訪日団が、5つのグループに分かれて都内見学などの交流活動を行い、交流終了後には合同懇談会を開催して、交流の成果を共有しました。

- ・期 日：2012年2月2日（木）
- ・協力者：7大学（早稲田大学、慶應義塾大学、立教大学、二松学舎大学、東京大学、青山学院大学、成城大学）の有志学生16名
- ・見学先：浅草、上野、秋葉原、台場、九段など



* 沖縄

訪日団員が沖縄大学の学生・留学生と一緒に地域の特産である黒糖づくりやウージ染め（サトウキビの葉・茎を使用した草木染め）を体験するとともに、豊見城市市長主催の「異文化交流友好の夕べ」に参加し、学生や市民との友好を深めました。

- ・期 日：2012年2月5日（日）
- ・協力者：沖縄大学の学生・留学生19名他、豊見城市関係者他
- ・場 所：豊見城市瀬長島



* 京都

訪日団員と同志社大学有志学生との意見交換会を開催するとともに、同大学学生の案内により大学キャンパスと京都の名刹を見学し、相互理解と友好を深めました。

- ・期 日：2012年2月7日（火）
- ・協力者：同志社大学の学生・留学生18名他
- ・見学先：同志社大学、金閣寺、清水寺

